



大須賀 林
自民党市議団

県管理の道路の雑草対策について

問 海陽町ラグーナ地区の入口付近が雑草だらけだが、市としてどのように捉えているのか。

答 国道23号は山側から、海陽ヨットハーバー入口交差点の東側・臨港道路は植樹帯の雑草が歩道へ伸びており、歩きにくい状況にあることは認識している。両者は県が管理しており、年に1回草刈りを実施してもらっている。

問 草刈りの実施時期や回数の改善はできるのか。

答 例年、草刈りは6月末から7月上旬に実施されており、今年度もほぼ同時期の実施であると考えている。また、回数を増やす事については現状難しいとのことである。



都市計画道路豊岡大塚線事業再開について

問 事業再開のための財政状況や各種条件は何か。

答 財政状況の条件を一概に提示することは難しいが、事業再開のためには、該当路線の必要性や事業効果などに関する事業評価を行うっていくものと考えている。

問 市役所内での議論はどのようか。

答 現在、各種施策検討や交通軸の在り方、必要性等について議論を行っている。市役所内の議論を深めた後、各方面とも順次、議論をしていきたい。



中野香余
自民党市議団

庁舎環境について

問 各課の窓口では個人情報や取り扱われると思う。話し声が隣の席など周辺に漏れないようBGMの導入の検討について伺う。

答 市民病院や市役所北棟集会室の期日前投票所で音楽を流している。本庁舎で音楽を流す他自治体も承知している。近隣の取組などを調査しつつ、導入の研究をしていきたい。

手をつなぐ登園に向けて

問 紙おむつの定額利用サービスの導入について、検討状況と保護者や保育士へのアンケート実施について伺う。

答 導入については、検討を重ねてきた。導入すること、保護者が紙おむつを用意する



必要が無くなるため登園準備時間が短縮できる、持ち物が減るといった効果がある。保育園では、紙おむつを園児毎に分類したり在庫を確認したりする手間が無くなるという点で保育士の負担が軽減される。本年度アンケート等で意向を調査する予定であり、結果を踏まえたうえで導入の検討を行っていく。

問 負担軽減のため午睡ふとんのレンタルの導入について伺う。

答 現時点では導入の考えはないが、保護者や保育士の負担軽減につながる取組については視野を広く持ち、情報収集をしていく。



八田寿人
自民党市議団

災害発生時の情報伝達手段について

問 災害発生時、被害を受ける可能性のある地区に対して、災害対策本部はどのように情報伝達をするのか伺う。

答 災害時には避難情報をはじめ、土砂災害警戒情報など様々な情報

が立て続けに発せられる。その状況の中で、個別に複数の人にリアルタイムで発信するのは大変困難である。そこで、平時からの備えとしてハザードマップを意識してもらうことや、情報の取得方法を考えてもらうことを呼びかけていきたい。

問 外国籍の児童の保護者にも理解しやすいよう、平仮名での情報発信についての考えを伺う。

答 形原北小学校に確認したところ、外国籍



デジタル同報無線屋外スピーカー

の児童の保護者に向けては、ほぼ平仮名で易しい（やさしい）言葉に置き換える等の配慮をしているとのことである。これらの配信方法も参考にし、分かりやすい情報発信を継続的に検討していきたい。

問 今回（6月3日）の緊急地震速報はどのような情報伝達経路で伝わったのか伺う。

答 全国瞬時警報システム（Jアラート）により発信され、受信後は職員の手を介さず、速やかに同報系防災行政無線を自動起動し、屋外スピーカーで放送された。自動発信のため正確な情報が短時間で伝わると考えている。